

受験番号	
------	--

※記入しない※

【解答欄】

I.

次の問いに答えよ。

(1) 次の計算をせよ。

① $(-\frac{3}{5}) \div (-\frac{9}{10}) \div (-\frac{5}{8})$

② $\frac{5}{57} + \frac{11}{19}$

(2) ヒト1人の血液量は、体重の約 $\frac{1}{13}$ といわれる。

体重 51 kgの人の血液量はおよそ何リットル(L)か。

ただし、小数第3位を四捨五入すること。また、血液1Lの重さは約1kgとする。

(3) 2025年7月20日に行われた参議院選挙について、WEB版の日経新聞に以下の記事が出ていた。

総務省は20日、参院選の期日前投票者数（選挙区、速報値）が全国で2618万1865人だったと発表した。2022年の前回参院選の1961万から650万人以上増えた。衆院選を含む国政選挙で過去最多を更新した。有権者全体に占める割合は25.1%と前回は6.4ポイント上回った。

25.1%を25%として、1000の位以下を切り捨てて、今回の参議院選挙の全国の有権者数を求めよ。（○億○○万人として答えること）

(4) 次のような変数 x, y のデータがある。

x	7	4	8	6	5	10	9	2	1	3
y	7	5	7	5	6	9	8	5	5	4

これについて、

① 散布図をかけ。最初のデータ ($x=7, y=7$) を例に、●(黒丸)で示すこと。

② x, y の間に相関関係があるかどうかを調べ、解答欄の相関関係がない、正の相関関係がある、負の相関関係があるのいずれかを○で囲め。

(5) 次の二重根号をはずせ。

$\sqrt{11+6\sqrt{2}}$

I.

(1)

①
②

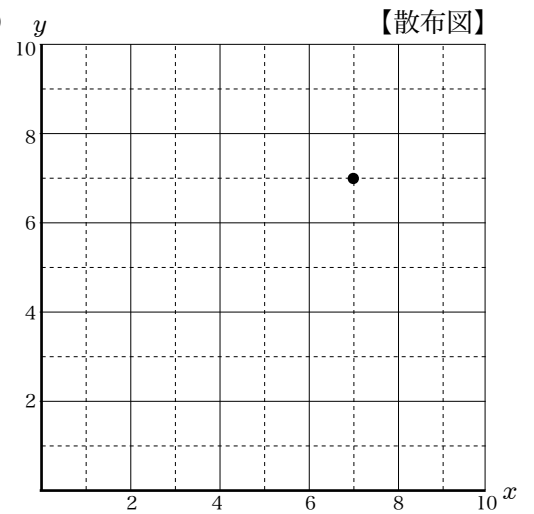
(2)

リットル

(3)

万人

(4)①



② 相関関係がない	正の相関関係がある	負の相関関係がある
-----------	-----------	-----------

(5)

--

2.① $(5x-4)(3x+2)$ を展開せよ。② $(a+5b+3)(a+5b-5)-9$ を因数分解せよ。③ 方程式 $3x^2-14x+2=0$ を解け。④ 2次方程式 $2x^2+4x+m-1=0$ が重解をもつような定数 m の値を求めよ。⑤ 連立不等式 $\begin{cases} x^2+x-6 < 0 \\ 2x-3 \leq -5 \end{cases}$ を解け。**3.** $U=\{n \mid 1 \leq n \leq 10, n \text{ は自然数}\}$ を全体集合とする。 U の部分集合 A, B について、 $A=\{1, 4, 6, 9, 10\}, B=\{1, 4, 7, 9\}$ のとき(1), (2)に示す集合を求めよ。なお、 \bar{A} は A の補集合を表す。(1) $A \cap B$ (2) $\bar{A} \cap \bar{B}$

【解答欄】

2.

①

②

③ $x =$ ④ $m =$

⑤

3.

①

(1) $\{ \quad \quad \quad \}$ (2) $\{ \quad \quad \quad \}$

4.

$1 \leq x \leq 5$ のとき、 $y = (x^2 - 6x + 5)^2 + 2(x^2 - 6x + 5) - 3$ の最大値と最小値を求めたい。

点線の空欄枠ア～ツに適する数式を右の【選択群】から選び、記入せよ。
 なお、同じ数式を何度使ってもよい。また、図⑤、⑦のグラフを完成させよ。

【解き方】

$$y = (x^2 - 6x + 5)^2 + 2(x^2 - 6x + 5) - 3 \dots ①$$

$x^2 - 6x + 5 = t \dots ②$ とおくと、①は次のように表せる。

$$y = \boxed{\text{ア}} \dots ③$$

$$\text{一方、 } t = x^2 - 6x + 5 = \left(x - \boxed{\text{イ}}\right)^2 - \boxed{\text{ウ}} \dots ④$$

t を x の関数とみると、 $1 \leq x \leq 5$ だから、グラフは右図⑤のようになる。

$$\text{このグラフから、 } t \text{ の変域は } \boxed{\text{エ}} \leq t \leq \boxed{\text{オ}} \dots ⑥$$

$$\text{③から } y = \boxed{\text{ア}} = \left(t + \boxed{\text{カ}}\right)^2 - \boxed{\text{キ}}$$

⑥の変域における③のグラフは、右下図⑦のようになる。

このとき、 y は

$$t = \boxed{\text{ク}} \text{ のとき、最大値 } \boxed{\text{ケ}} \text{ をとる。}$$

$$t = \boxed{\text{コ}} \text{ のとき、最小値 } \boxed{\text{サ}} \text{ をとる。}$$

したがって $t = \boxed{\text{ク}}$ のとき、

$$\text{【図⑤】から、 } x = \boxed{\text{シ}} \dots ⑧$$

また $t = \boxed{\text{コ}}$ のとき、②から

$$x^2 - 6x + 5 = \boxed{\text{ス}}$$

$$\text{これを解くと、 } x = \boxed{\text{セ}} \dots ⑨$$

⑧、⑨は $1 \leq x \leq 5$ を満たす。

以上から

$$x = \boxed{\text{ソ}} \text{ のとき、最大値 } \boxed{\text{タ}}$$

$$x = \boxed{\text{チ}} \text{ のとき、最小値 } \boxed{\text{ツ}} \text{ をとる。}$$

【解答は点線枠ア～ツに記入すること】

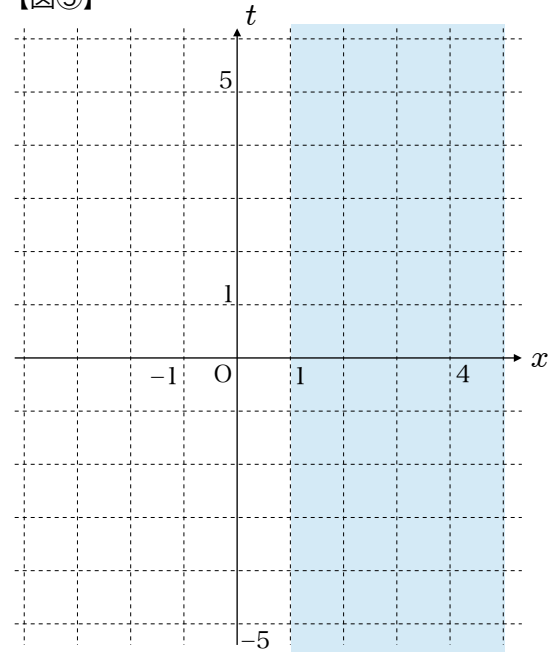
また図⑤、図⑦のグラフも完成させること。

【選択群】

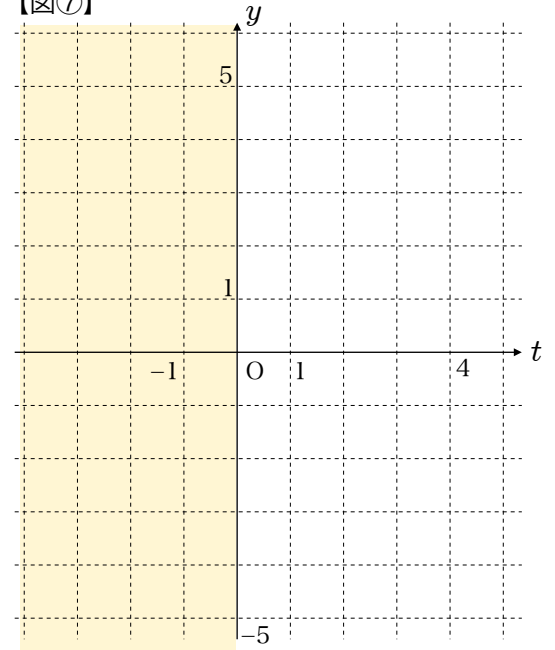
$-5, -4, -3, -2, -1, 0, 1, 3, 4, 5,$

$3 \pm \sqrt{5}, 3 \pm \sqrt{3}, t^2 + 2t - 3$

【図⑤】



【図⑦】



5.

底面が1辺2の正方形で、 $OA=OB=OC=OD=3$ である正四角錐O-ABCDがある。
 辺ABの中点をM、 $\angle OMC = \theta$ として、

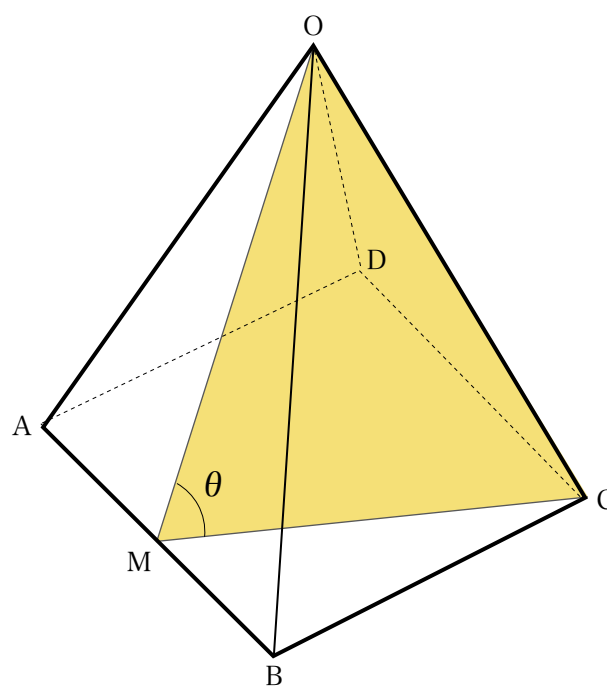
① 線分OMの長さを求めよ。

② 線分CMの長さを求めよ。

③ $\cos \theta$ の値を求めよ。

④ $\sin \theta$ の値を求めよ。

⑤ $\triangle OMC$ の面積を求めよ。



【解答欄】

5.

① $OM =$

② $CM =$

③ $\cos \theta =$

④ $\sin \theta =$

⑤ $\triangle OMC =$

2026年度 第44期生 後期入試試験問題

(国語)

泉州看護専門学校

一 次の文章は芥川龍之介の「蜜柑」の全文である。これを読んで後の設問に答えなさい。

ある曇った冬の日暮れである。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下ろして、ぼんやり発車の笛を待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、今日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、ただ、檻おびに入れられた小犬が一匹、時々「1」に、吠え立てていた。これらはその時の私の心持ちと、不思議なくらい似つかわしい景色だった。私の頭の中には言いようのない疲労と倦怠アとが、まるで雪曇りの空のようなどんよりした影を落としていた。私は外套がとちのポケットへじっと両手を突っ込んだまま、そこに入っている夕刊を出して見ようという元氣さえ起こらなかった。が、やがて発車の笛が鳴った。私はかすかな心の寛くつろぎを感じながら、後ろの窓枠へ頭をもたせて、眼の前の停車場がずると後ずさりを始めるのを待つともなく待ちかまえていた。ところが、それよりも先にけたたましい日和下駄ひよの音が、改札口の方から聞こえ出したと思うと、間もなく車掌の何か言い罵る声と共に、私の乗っている二等室の戸ががらりと開いて、十三四の小娘が一人、慌ただしく中へ入ってきた、と同時に一つずしりと揺られて、徐ろおもむに汽車は動き出した。一本ずつ眼をくぎって行くプラットフォームの柱、置き忘れたような運水車、それから車内の誰かに祝儀の礼を言っている赤帽——そういうすべては、窓へ吹きつける煤煙ばい煙の中に、ミレンaがましく後ろへ倒れて行った。私は漸イくほっとした心持ちになって、巻煙草まきたばこに火をつけながら、始めてものうい臉まぶたをあげて、前の席に腰を下ろしていた小娘の顔を一瞥いちめつした。

それは油気のない髪をひつつめの銀杏返しいんぎょうがしに結って、横なでの痕のある鞆たもとだらけの両頬を気持の悪い程赤く火照らせた、いかにも田舎者らしい娘だった。しかも垢じみた萌黄色ももぎの毛糸の襟巻えりまきがだらりと垂れ下がった膝の上には、大きな風呂敷包みがあった。そのまた包みを抱いた霜焼けの手の中には、三等の赤切符が大事そうにしつかり握られていた。私はこの小娘の下品な顔だちを好まなかった。それから彼女の服装がフケツbなものやはり不快だった。最後にその二等と三等との区別さえも弁わえない愚鈍な心が腹立たしかった。だから巻煙草に火をつけた私は、一つにはこの小娘の存在を忘れたいという心持ちもあって、今度はポケットの夕刊を漫然Aと膝の上へ広げて見た。

するとその時、夕刊の紙面に落ちていた外光が、突然電燈の光に変わって、刷りの悪い何欄かの活字が意外な位鮮やかに私の眼の前へ浮んで来た。いうまでもなく汽車は今、横須賀線に多い隧道すいどうの最初のそれへ入ったのである。しかしその電燈の光に照らされた夕刊の紙面を見渡しても、やはり私の憂鬱うゑふをナグサcむべく、世間は余りに平凡な出来事ばかりで持ち切っていた。講和問題、新婦新郎、瀆職とくしやく事件、死亡広告——私は隧道へ入った一瞬間、汽車の走っている方向が逆になったようなサツカクdを感じながら、それらの索漠とした記事から記事へほとんど機械的に眼を通した。が、その間も勿論あの小娘が、恰あたかも卑俗な現実を人間にしたような面持ちで、私の前に座っている事を絶えず意識せずにはいらなかった。この隧道の中の汽車と、この田舎者の小娘と、そうしてまたこの平凡な記事に埋まっている夕刊と、——これが象徴でなくて何であろう。不可解な、下等な、退屈な人生の象徴でなくて何であろう。私は一切がくだらなくなつて、読みかけた夕刊を抛り出すと、また窓枠に頭をもたせながら、死んだように眼をつぶって、うつらうつらし始めた。

それから幾分か過ぎた後であった。ふと何かに脅かされたような心持ちがして、思わずあたりを見まわすと、いつの間にか例の小娘が、向う側から席を私の隣へ移して、頻りに窓を開けようとしている。が、重い硝子戸がらすとはなかなか思うように上がらないらしい。あの鞆ひびだらけの頬はいよいよ赤くなって、時々鼻涙はななみをすすりこむ音が、小さな息の切れる声と一緒に、せわしなく耳へ入ってくる。これは勿論私にも、幾分ウながら同情を惹ひくには相違なかった。しかし汽車が今まさに隧道の口へさしかかろうとしている事は、暮色の中に枯草ばかり明るい両側の山腹が、間近く窓側に迫って来たのでも、すぐに合点のいく事であった。にも関わらずこの小娘は、わざわざ閉めてある窓の戸を下そうとする、——その理由が私には呑みこめなかった。いや、それが私には、単にこの小娘の気まぐれだとか考えられなかった。だから私は腹の底に依然として険イしい感情を蓄えながら、あの霜焼けの手が硝子戸を擡もたげようとして悪戦苦闘する様子を、まるでそれが永久に成功しない事でも祈るような「2」な眼で眺めていた。

すると間もなく凄じい音をはためかせて、汽車が隧道へなだれこむと同時に、小娘の開けようとした硝子戸は、とうとうぱたりと下へ落ちた。そうしてその四角な穴の中から、煤を溶かしたようなどす黒い空気が、にわかに息苦しい煙になって、濛々もうもうと車内へ漲り出した。元来咽喉のどを害していた私は、手巾ハンケチを顔に当てる暇さえなく、この煙を満面に浴びせられたおかげで、ほとんど息もつけない程咳せきこまなければならなかった。が、小娘は私に頓着Bする気色も見えず、窓から外へ首をのぼして、闇を吹く風に銀杏返しいんぎょうがしの鬢びんの毛をそよがせながら、じっと汽車の進む方向を見やっている。その姿を煤煙と電燈の光との中にナガeめた時、もう窓の外が見る見る明るくなつて、そこから土の匂いや枯草の匂いや水の匂いが冷ひやかに流れこんで来なかったなら、漸く咳きやんだ私は、この見知らない小娘を頭ご

なしに叱りつけてでも、また元の通り窓の戸を閉めさせたのに相違なかったのである。

しかし汽車はその時分には、もう安々と隧道をすべり抜けて、枯草の山と山との間に挟まれた、ある貧しい町はずれの踏切に通りがかっていた。踏切の近くには、いずれも見すばらしい藁屋根や瓦屋根がごみごみと狭苦しく建てこんで、踏切番が振るのである。唯一、旒いぢりゆうのうす白い旗が「3」に暮色を揺すっていた。やっと隧道を出たと思う——その時その蕭索しょうさくとした踏切の柵さくの向うに、私は頬の赤い三人の男の子が、目白押しに並んで立っているのを見た。彼等①は皆、この曇天に押しすくめられたかと思ふ程、揃って背が低かった。そうして又この町はずれの陰惨いんさんたる風物と同じような色の着物を着ていた。それが汽車の通るのを仰ぎ見ながら、一斉に手を挙げるが早いか、いたいけな喉のどを高く反そらせて、何とも意味の分らない喊声かんせいを一生懸命に迸ほとばしらせた。するとその瞬間である。窓から半身を乗り出していた例の娘が、あの霜焼けの手をつとのばして、勢よく左右に振ったと思うと、たちまち心を躍らすばかり暖かな日の色に染まっている蜜柑みかんが凡およそ五つ六つ、汽車を見送った子供たちの上へばらばらと空から降って来た。私は思わず息Cをのんだ。そうして刹那*せつなに一切を了解した。

小娘は、恐らくはこれから奉公先へ赴おもむこうとしている小娘は、その懐に藏かくしていた幾顆いくかの蜜柑を窓から投げて、わざわざ踏切りまで見送りに来た弟たちの労に報いたのである。暮色を帯びた町はずれの踏切と、小鳥のように声を挙げた三人の子供たちと、そうしてその光景が焼きつけられた。そうしてそこから、ある得体の知れない朗らかな心持ちが湧き上って来るのを意識した。私は昂然こうぜんと頭を挙げて、まるで別人を見るようにあの小娘を注視した。小娘は何時かもう私の前の席に返って、あいかわらず戦ひびだらけの頬を萌黄色の毛糸の襟巻に埋めながら、大きな風呂敷包みを抱えた手に、しっかりと三等切符を握っている。

……私はこの時始めて、いいようなない疲労と倦怠とを、そうしてまた不可解な、下等な、退屈な人生をわずかに忘れる事が出来たのである。

*注 横須賀発上り……現在のJR横須賀線の横須賀発東京方面行き。当時の列車は蒸気機関車に牽引されており、客車には一等から三等までの等級があった。また、駅には荷物を運ぶ「赤帽」という人々がいた。

外套……冬に着るコートのこと。

萌葱色……黄色がかった地味な緑色。

隧道……トンネル。

講和問題……第一次世界大戦の後のパリ講和会議。

瀆職……「汚職」に同じ。

重い硝子戸……当時の客車の硝子窓は少し上げてから下に落とすことで開ける形。

踏切番……当時の踏切には踏切番がいて、人力で遮断機を上げ下ろししていた。

刹那……ごく短い時間。一瞬。

「設問」

問一 波線部ア～エの漢字のよみをひらがなで書きなさい。

問二 傍線部 a～e を漢字になおしなさい。

問三 二重傍線部 A～C の語の本文での意味としてもっとも適当なものを選び。記号で答えなさい。

- | | | | | |
|----------|---------|----------|---------|----------|
| A 漫然と…… | ア ゆっくりと | イ ぼんやりと | ウ なにげなく | エ 注意深く |
| B 頓着する…… | ア こだわる | イ さげすむ | ウ ためらう | エ 気づかう |
| C 息を呑む…… | ア ほっとする | イ ひやっとする | ウ はっとする | エ にやっとする |

問四 空欄1から3に入るもっとも適当な語を次から選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|--------|-------|-------|------|------|
| ア ものうげ | イ 嬉しげ | ウ 悲しげ | エ 冷静 | オ 冷酷 |
|--------|-------|-------|------|------|

問五 傍線部①の描写が暗に示しているものは何ですか。

問六 傍線部②で、「小娘」の行動が主人公の「私」をこのような気持ちにしたのはなぜですか。

二 次の文章を読んで後の設問に答えなさい。

【アンデシユ・ハンセン著 久山葉子訳「スマホ脳」による】

SNSから受ける影響を調べようとすると、「どちらが先か」という問題にぶつかる。「1」^①、ニワトリが先なのか、卵が先なのかという問題だ。SNSを熱心に使う人は気分が沈みがちだとして、その原因がSNSにあるのかどうか、どうすればわかるのだろう。悲しい気分の人たちがフェイスブックやインスタグラムに引き寄せられている可能性もあるのだ。研究者が「因果律」と呼ぶ問題だ。ある調査では、平均年齢20歳の若者たちに、「今どんな気分?」「今、人生にどのくらい満足している?」「前回からどのくらいフェイスブックを使った?」といった簡単な質問に答えてもらい、この因果律を解こうとした。

質問は一日に五回繰り返し返され、参加者はスマホを使って回答した。それにより、その瞬間の気分やここ数時間でどれくらいフェイスブックを使ったかが明らかになった。その結果は?フェイスブックを使った人ほど、人生に満足できていなかった。珍しいバカンスや高級グルメの写真に集中砲撃されると、短時間でも人生への満足度が下がる可能性があるのだ。この結果は、立証とまでは言えなくても示唆にはなる。論文の著者たちはこのように結論づけている。「フェイスブックは表面的には、人間のソーシャルコンタクトへの本質的な欲求を満たしてくれる貴重な場である。「2」^②、心の健康をゾウシン^aするどころか悪化させることを調査結果が示唆している」^aイェール大学の研究者は、五〇〇〇人を超える人々の心の健康を二年にわたって調査し、同じ現象に行き当たった。ある期間にSNSに費やした時間が長かった人ほど、その後の数カ月間、人生に対する満足度が下がっていたのだ。

フェイスブックを頻繁^bにやっているが、それでも問題なく元気で、引きこもりたり落ち込んだり、シットを感じたりもしていない、そんな人をあなたはきつと何人も知っているはずだ。SNSに時間を費やすからといって、全員の精神状態が悪くなるわけではない。いくつかの研究が、SNSのせいで心の健康が損なわれることを示しているが、SNSのおかげで元気になるという結果が出た研究もある。フェイスブック上の友達が多い人は皆に支えてもらっている、人生の満足感も増したと感じている。「3」^③「自信もついた。いったいどちらを信じればいいのかだろう。」

ひとつの方法としては、研究を個別に見るのではなく、複数の結果をまとめてみることだ。70件近くの研究をまとめると、SNSは精神面に悪い影響を及ぼすが、平均すると影響は小さいということがわかった。しかし、あくまで平均の話だ。SNSを頻繁に利用することで精神状態が悪化するリスクのある人もいる。神経質で、心配性で、常に不安を抱えている人たちだ。彼らはそれほどではない人よりも、強く影響を受ける。

なお、精神状態が「悪くなるような使い方」もある。他人の写真を見るだけで、自分は写真をアップしないし議論にも参加しない消極的なユーザーは、積極的なユーザーよりも精神状態が悪くなりやすいようだ。積極的なユーザーは画像をアップするだけでなく、個々のユーザーとコミュニケーションを取っている。それが当たり前だと思いかもしれないが、実はフェイスブック上のアクティビティで積極的なコミュニケーションはわずか9%だ。たいていは、⁽²⁾「⁽¹⁾尽きる⁽²⁾ことのない潮流のような投稿や画像を次から次へと見ているだけなのだ。ほとんどのユーザーは、ソーシャルメディアを社交⁽²⁾に利用するのではなく、皆が何をしているかをチェックしたり、個人ブランドを構築するためのプラットフォームとして使っている。」

⁽²⁾それ以外の場所で他の人からしつかり支えられている人は、SNSを社交生活をさらに引き立てる手段、友人や知人と連絡を保つための手段として利用している。そうした人たちの多くは、⁽⁴⁾「⁽³⁾良い影響を受ける。対して、社交生活の代わりにSNSを利用する人たちは、精神状態を悪くする。ある研究では、最初から精神状態が悪く自信もあまりなかった人は、SNSを使い過ぎることで⁽⁴⁾精神状態が悪くなったり、自信を失ったりする危険性があることがわかった。」

そんなわけで、自己評価が低く自信がない人は、SNSのせいで精神状態が悪くなるリスクを抱えている。自分を他人と比較しがちだからだ。基本的には誰だって周り⁽¹⁾と比べて自信が持てなくなったり不安になったりはする。人生にはそんな時期がある。そう、思春期だ。現在のティーンはSNSに取り憑⁽¹⁾かれていますと言っても過言ではない。12〜16歳の若者四〇〇〇人を対象にしたアンケート調査では、7人に1人(14%)が一日に最低6時間をSNSに費やしていた。起きている時間の実に3分の1以上だ。

1万人近い10歳児に5年間、精神状態、友達や自分の見た目、学校や家族に満足しているかという質問をしたところ、年を経るごとに、⁽¹⁾「⁽²⁾全体的な満足感が下がっていった。おかしなことではない。基本的にその年頃は、幼い頃よりも人生がつまらなくなっていくものだ。脳⁽¹⁾のドーパミンのシステムがその頃に変化するのも一因かもしれない。ここで興味深いのは、特にSNSをよく使う子のほうが満足感が低いことだ。ただ、その傾向は女子にだけ見られ、基本的には女子のほうがSNSを利用している。研究者たちの⁽¹⁾「スイソク」はこうだ。「SNSというのは常に繋がっていないなければならないものだ……彼女たちは常に「完璧な⁽¹⁾ヨウシ」や「完璧な人生」の写真を見せられ、自分と他人を比較するのをやめられなくなる」

⁽³⁾ SNSが一部のティーンエイジャーや大人の気分を落ち込ませ、孤独を感じさせ、さらには自信まで失わせているという⁽¹⁾「⁽²⁾チウコウ」が大いにある。特に、女子がひどく影響を受ける。しかし、その範囲はもっと広範囲に及ぶのかもしれない。

*注 ソーシャルコンタクト：社会的接触、交流。 アクティビティ：活動、行動。 プラットフォーム：足場。 基盤。
 リスク：危険性。 ドーパミン：神経伝達物質。 中枢神経を刺激して快楽や喜びの感情をもたらす。

「設問」

問一 波線部 **ア**〜**エ**の漢字のよみをひらがなで書きなさい。

問二 傍線部 a〜e を漢字になおしなさい。

問三 空欄 1 から 3 に入るもつとも適当な語を次から選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ そこで ウ たとえば エ つまり オ さらに

問四 二重傍線部 (1)〜(4) の品詞を書きなさい。

問五 傍線部①はこの本文の場合にはどういうことなのですか。

問六 傍線部②が指示しているものは何ですか。

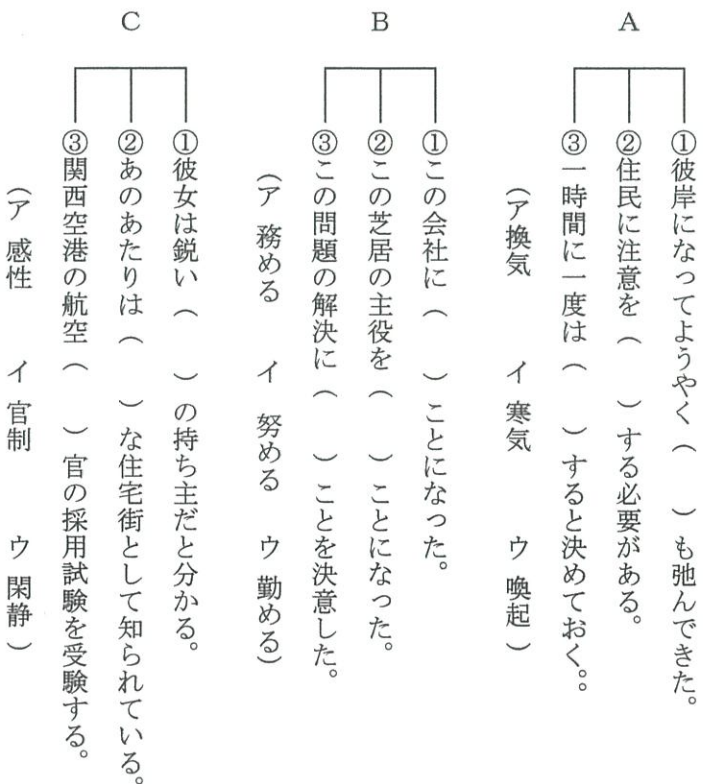
問七 傍線部③は、なぜそうなるのですか。

三 次の問いに答えなさい。

問一 次の作者の作品をあとから選んで番号で答えなさい。

- | | | | |
|-----------------|---------------|---------------|-----------------|
| A 森 鷗 外 () | B 樋 口 一 葉 () | C 夏 目 漱 石 () | D 島 崎 藤 村 () |
| E 谷 崎 潤 一 郎 () | F 太 宰 治 () | G 川 端 康 成 () | H 三 島 由 紀 夫 () |
| 1 雪 国 | 2 草 枕 | 3 に じ り え | 4 細 雪 |
| | | | 5 斜 陽 |
| | | | 6 金 閣 寺 |
| | | | 7 破 戒 |
| | | | 8 舞 姫 |

問二 それぞれの文に当てはまる同音異義語を選んで、その記号を書きなさい。



問三 次の言葉の対義語を書きなさい。

- ① 序盤 ② 舶来 ③ 理論 ④ 愛好 ⑤ 普遍

問四 次の空欄に当てはまる漢字を書きなさい。

- ① 中模索 ② 言語 断 ③ 勸 懲悪 ④ 気宇 壮 果
 ⑤ 果応報 ⑥ 意 消沈 ⑦ 一 即発 ⑧ 右 左往